

新規参入者のための

有機農業夜間講座・名古屋 2012

有機農業とはどのようなものか？ 有機農業をやっていくためには何が必要か？

有機農業で就農するノウハウを知りたい方のために、夜間講座を開催いたします。野菜栽培・稲作の技術を中心に、有機農家の経営と暮らし、流通・販売など、新規就農を果たすためには欠かすことのできない分野について、現場で実践しているプロを講師に招いてお話いただきます。

講座日程

開講時間：18:30～20:45

日時	講座内容
11/7 (水)	有機農業の暮らしと地域参入 講師：西尾勝治さん・加藤智士さん/白川町有機の里づくり協議会
11/14 (水)	環境と有機農業 講師：松沢政満さん/福津農園
11/21 (水)	野菜作の基礎 講師：黒田肇さん/ふき村黒田農園
11/28 (水)	野菜作の実践事例 講師：山口順さん/フウノキ農場 深谷良子さん・渡邊哲也さん/amrita 農園
12/5 (水)	土づくり堆肥づくり～畑でおいしい水をつくる～ 講師：橋本力男さん/堆肥・育土研究所
12/12 (水)	有機水稲作の考え方 講師：中島克己さん/白川町有機の里づくり協議会
12/19 (水)	有機農産物の流通・販売 講師：長谷川満さん/大地を守る会 石川卓哉さん/石川農園

12/26(水)に受講者による情報交換会を予定しています。

申し込み・問い合わせ先

有機農業参入促進協議会事務局 〒390-1401 長野県松本市波田 5632

Tel/FAX 0263-92-6622 E-mail office@yuki-hajimeru.net

- 受講料 7,000 円
- 定員 35 名
- 主催 有機農業参入促進協議会
- 共催 (社)全国愛農会、あいち有機農業推進ネットワーク、オアシス 21 オーガニックファーマーズ朝市村
- 後援 東海農政局、愛知県
- 会場 ウィンクあいち 1006 会議室



※講師・参加申込については裏面をご覧ください。

<p>11/7 ⑧ 有機農業の暮らしと地域参入</p> <p>にしお まさはる 西尾 勝治 西尾フォレストファーム・岐阜県白川町 高校教員・会社員を経て就農。原木椎茸・米・大豆を中心に栽培し、山仕事も行う。地元への新規就農希望者の支援にも力を注いでいる。</p> <p>かとう さとし 加藤 智士・岐阜県白川町 大学を出て12年のサラリーマン生活の後、愛知県農業大学の研修を機に農業を志す。白川町にて1年の研修を経て今年新規就農。冷涼な気候ときれいな水を活かした生産や加工・販売を予定。</p>	<p>11/14 ⑧ 環境と有機農業</p> <p>まつざわ まさみつ 松沢 政満 福津農園・愛知県新城市 大学を出て食品会社の研究員を勤めた後、実家の農業を継ぐ。中山間地にて、年間数十種類の野菜や果実、米の生産に加え、山菜や茸採り、鶏や山羊の飼育にも取り組む。地域の産廃施設やゴルフ場誘致をストップさせるなど、環境保全活動も行っている。草を生かした栽培に特徴があり、国の研究対象にもなっている。研修生の受け入れ、育成も行っている。あいち有機農業推進ネットワーク代表。</p>	<p>11/21 ⑧ 野菜作の基礎</p> <p>くろだ はじめ 黒田 肇 ぶき村黒田農園・愛知県武豊町 無添加・国産小麦パン「わっぱん」で知られる、障害のある者もない者も共に働く場づくりをしてきた「わっぱの会」(名古屋市)に1988年に入会。93年、わっぱ農場を開くべく知多半島で就農。2000年、知多での拠点となる農場・農産加工場「わっぱ知多共働事業所」(武豊町)を開設。07年に健康上の理由で退職し個人農家になる。現在、水稲、野菜、みかん等を栽培。</p>
<p>11/28 ⑧ 野菜作の実践事例</p> <p>やまぐち じゆん 山口 順 フウノキ農場・三重県伊賀市 複雑な社会の中で生かされる生活ではなく、自分も他人も生きる暮らしを目指して農業を志す。大学卒業後、サラリーマン生活6年、農業生産法人で3年の学びを経て就農。現在は伊賀有機農産供給センターのメンバーとして露地野菜を出荷している。就農翌年から近隣のママさんに畑作業を手伝って頂く「のらすけプロジェクト」を実施。伊賀有機農業推進協議会所属。</p>	<p>わたなべ てつや 渡邊 哲也 amrita 農園 岐阜県高山市 大学で福祉を学び、福祉の仕事に就く。休日に友人の慣行栽培トマト農家を手伝ううち、農家を志す。カナダ旅行中に木村秋則さんを知り、無肥料自然栽培での就農を決意。</p> <p>ふかや りょうこ 深谷 良子 amrita 農園 岐阜県高山市 名古屋で美容師として働いた後、ワーキングホリデーでカナダに渡る。テレビで木村秋則さんを知り、帰国して就農。美容師との両立を目指すも、農業の奥深さ、楽しさを知り農業に専念。</p>	<p>12/5 ⑧ 土づくり堆肥づくり</p> <p>はしもと りきお 橋本 力男 堆肥育土研究所・三重県津市 有機農業者として野菜を販売する傍ら、地域の資源を活用した堆肥づくり、生物多様性に富んだ「健康な土づくり」を研究。そのノウハウを農業者や企業を対象として開催している「コンポスト学校」等で広めている。講師や企業の顧問経験は多い。平成20年度には農水省から「農業技術の匠」に選定された。著書に『畑でおいしい水をつくる』。</p>
<p>12/12 ⑧ 有機水稲作の考え方</p> <p>なかしま かつみ 中島 克己 中島農園・岐阜県白川町 長年有機農業を実践。稲・大豆・野菜などを有機栽培する農家が参加する白川町有機の里づくり協議会で稲作技術の指導的存在。中島さんの田んぼを調査したところ、土壌微生物の多様性、活性値とも、全国のトップクラスの結果を示した。この田んぼで、除草の必要がない省力有機稲作の実現に成功している。</p>	<p>12/19 ⑧ 有機農産物の流通・販売</p> <p>はせがわ みつる 長谷川 満 株式会社大地を守る会・千葉県千葉市 埼玉県秩父市生まれ。これまで有機農業の普及・指導・仕入れ・販売などの業務に従事。週末は地元秩父で、生産者として有機農業を実践。</p> <p>いしかわ たくや 石川 卓哉 石川農園・愛知県田原市 慣行農家の長男として生まれる。農家を継ぐことを考えず大学へ進学するも、都会の生活も企業への就職も肌に合わず、有機農家として新規就農。米づくりを中心に多品目の野菜を栽培。</p>	<p>12/26 ⑧ 有志による情報交換会</p> <p>有機農業での就農を志したり、有機農業に興味のある人同士がせっかく集まるのですから、情報交換をしましょう。講座の感想や今後の研修・見学先、就農準備方法など、さまざまな情報交換ができ、毎年好評です。有機食材を使った料理を囲んで盛り上がりましょう。</p> <p>場所：ウィルあいち(名古屋市東区上笠杉町1) 地下鉄「市役所」駅より徒歩約10分 料金：実費</p>

有機農業夜間講座 参加申し込み FAX 0263-92-6622 Email office@yuki-hajimeru.net

氏名	ふりがな	住所
電話番号		〒
E-mail または FAX		

※本講座は平成24年度有機農業総合支援事業(有機農業参入促進事業)の一環として実施します。
 ※ご記入いただいた個人情報、本講座に関する事務にのみ利用します。